

20日に行われた  
徳島県議会一般質  
問と答弁の要旨は  
次の通り。

# 県議会一般質問の論戦

要旨

## 地方への分権 少しずつ形に

岡佑樹氏（次世代）



地方創生の動  
きに大きな  
懸念を抱い  
ている。進  
めていた地

方分権を地方創生という名  
の下、かじを切り返し、中  
央集権的な方向に逆戻りさ

せているのではないか。

飯泉嘉門知事 地方に移  
転する企業に対しての大胆  
な「二国二制度」を導入し  
た税制措置や政府関係機関  
の地方移転など、地方創生  
は従来の国主導とは異な  
り、地方のやる気と知恵を  
引き出し、それを後押しす  
るものだ。一歩ずつながら  
も地方分権が具体的な形と  
なってきた。

岡氏 地方創生では国が  
財源を握った上で、地方か  
らの提案を精査し、交付金  
を出す。地方の国への依存  
を助長させるものだ。

知事 各都府の補助金の  
寄せ集めではなく、地方の  
責任において自主的、効果  
的に活用できる包括的な交  
付金であり、地方が求めて  
きたこと。これも地方分権  
が進んだ証しだ。

## 外国人医師の 医療環境整備

西沢貴朗氏（自民県民会  
議） 南海



トラフ巨大  
地震などの  
大規模災害  
時に外国人

医師が国内で医療行為が早  
急にできるよう国に提言し  
てはどうか。

豊井泰雄政策監 国内外

で災害医療支援活動の実績  
がある認定NPO法人・A  
MDAと3日に医療救護活  
動に関する協定を結んだ。  
AMDAの助言を参考に、  
通訳の確保など受け入れに  
必要な環境整備について国  
に提言をしていきたい。

うか。

政策監 県の友好提携先  
であるドイツ・ニーターザ  
クセン州をはじめ諸外国と  
の交流を通じ、救助隊の派  
遣や支援物資の供給、災害  
ボランティア活動など防災  
面で相互に協力できる体制  
づくりを検討する必要がある  
と考えている。相互支援

西沢氏 外国の姉妹都市  
や近隣諸国の都市と災害時  
の応援協定を締結してはど  
と協議していきたい。